(11) 会社経営の基本方針

当社グループは、常に新しい価値の創造に努め、強いインフォメーションテクノロジーをベースに、お客様の求める高性能・高品質のプロダクト、サービスによるトータルソリューションを永続的に提供することにより、利益と成長を実現し、国際社会・地域社会との共存共栄を図ることを目標としております。お客様の置かれている環境、ビジネスや課題を真に理解した上で、お客様の成長と発展に寄与するＩＴ活用を形にしてまいります。

当社グループは、これらを通じ、グローバルな事業展開から地域に密着した事業展開にいたるまで、お客様の信頼されるパートナーとして、お客様の事業に貢献し、お客様とともに成長することを目指してまいります。

(12) 中長期的な経営戦略、目標とする経営指標及び対処すべき課題

ＩＴ投資は、米国、欧州においてサービス主導で堅調に増加しており、日本を除くアジア地域においても経済成長に牽引され順調に拡大しています。しかしながら当社グループの主要市場である日本国内においては、サービスを中心に緩やかな成長基調にはあるものの、国外と比べて力強さに欠ける状況が続いています。また、プロダクトについては、世界的に出荷台数は増加傾向にあるものの、サーバやネットワーク機器などの性能向上による低価格製品への需要シフトや、ＨＤＤ（ハードディスクドライブ）などのコンポーネントや電子デバイスの競争激化による低価格化が進んでおり、事業環境は厳しく推移すると見ております。

当社グループは、このような環境において収益力の向上を図るため、事業全体の効率化をさらに推進するとともに、海外における事業拡大や付加価値の高い製品及びサービスを強化することにより、成長力を高めてまいります。

当社グループは、２００９年度に連結営業利益率５％超とすることを目指しています。

1. テクノロジーソリューション

当社グループは、高度な技術と高品質のプロダクトを基盤としてグローバルなサービスを拡大することで、一層の成長を目指してまいります。サービス事業では、海外における能力拡大を図ります。米州では、リスク管理などのコンサルティング能力の強化やＳａａＳ（Software as a Service）などの新しい領域への展開をめざし、事業買収によるビジネスの拡大を進めております。ＥＭＥＡ（欧州・中近東・アフリカ）では、英国の公共部門向けアウトソーシングサービスにおいて高い実績を上げておりますが、民間企業向けのビジネスの拡大に取り組むとともに、欧州大陸でのビジネス能力の拡充を目指し、事業買収も視野に入れたサービス拠点の拡大に取り組んでまいります。ＡＰＡＣ（アジア・パシフィック）では、現地企業のお客様とのビジネス拡大を図るとともに、インドや中国におけるオフショア拠点の整備を進めてまいります。システムプラットフォーム事業においては、グローバルな製品の販売拡大に取り組むとともに、開発部門と営業部門との連携強化を通じて、より競争力の高い商品の実現を進めてまいります。

また、お客様の期待は、ＩＴシステムの最適化から、ＩＴを活用したビジネスの最適化へと変化しています。当社グループでは、業務プロセスの可視化と継続的な改善を追求する「フィールド・イノベーション」を中核として、ＩＴを活用したビジネスソリューションを推進し、事業領域の拡大を図っております。フィールド・イノベーションに役立つ新技術の開発に努めるとともに、お客様の業務を深く理解し、業務の視点から改善を提案できる人材「フィールド・イノベータ」を育成してまいります。

事業の効率化への取り組みも一層強化してまいります。トヨタ生産システムによる改革は製造部門での活動を一層加速しつつ、ソフトウェア開発へ適用を拡大してまいります。また、サービスにおいても、工業化及び標準化の取り組みを推進いたします。システム構築につきましては、本年５月にインフラの構築ＳＥを集結させ設立した「インフラテクノロジーセンター」を拠点として業務プロセスの標準化やノウハウの集約を進め、迅速化、品質向上、コスト削減を図ってまいります。またシステム提案につきましても、過去の商談分析から、お客様の多様なニーズを定型化し標準化することで、お客様への提案品質を強化するとともに、効率化を図ってまいります。

2. ユビキタスプロダクトソリューション

ユビキタスプロダクトソリューションは独立事業としてグローバルオペレーションを追求してまいります。ＰＣビジネスについては、品質、セキュリティ、ＡＶ機能などの差異化を追求した製品を提供し利益率を向上させるとともに、グローバル展開を進めてまいります。携帯電話ビジネスについては、無線技術を含め、最先端技術が集約されており、今後のユビキタス社会におけるキーデバイスと位置づけ、ＰＣとの融合化を見据えて成長戦略を強化してまいります。ＨＤＤビジネスについては高品質ブランドを維持するとともに、垂直磁気記録等の新技術の早期投入を図り、コスト競争力を高めて収益力を強化してまいります。

3. デバイスソリューション

デバイスソリューションについては、先端製品と基盤製品を両輪としてバランスをとった事業拡大をするという基本方針を踏襲してまいります。事業のグローバル展開を確実にするために、アジアを中心に一層の営業力強化に取り組んでまいります。基盤製品については、前工程の能力を強化するために、スパンション・ジャパン社の国内工場を購入するとともに、後工程を担う拠点を集約して生産効率を向上させてまいります。また、先端製品については、設計から製造まで一貫したサービスを提供するＮｅｗ－ＩＤＭモデルをさらに強化するために、ソフトウェア開発力の強化に一層注力してまいります。また、チップだけではなくモジュール、ボードといったコンポーネントレベルのトータルソリューションを実現するために関係会社とのシナジーを強化してまいります。先端ロジックの製造設備への投資判断については需要の動向を見極めつつ随時見直しながら進めてまいります。

4. 全社的な取り組み

以上のような各ビジネスでの取り組みに加え、今後とも、グローバルなビジネス展開を加速するために企業買収等によるグループとしてのビジネス拡大や、海外からのマネジメントへの登用などを進めるとともに、海外の有力なベンダとのアライアンスを一層強化してまいります。

従来より進めておりますものづくりにおける生産革新運動を引き続き推進するとともに、社内のあらゆる活動において徹底的に無駄を排除し、コストの削減とエコロジー活動を推進するための全社活動に継続して取り組んでまいります。

また、社内プロセスのうち当社グループが強みを持つ部分について、社外のお客様にもサービスとして提供することで収益化を目指しており、２００７年１０月には、共通技術部門及びデザイン部門を分社化いたしました。

環境活動については、当社グループは、２００７年度から２００９年度にかけての環境活動の課題と目標として「第５期富士通グループ環境行動計画」の詳細を決定いたしました。活動内容としては、スーパーグリーン製品の拡大など、製品・サービスの環境価値向上に向けた取り組みを強化してまいります。また、地球温暖化問題を重要課題として位置づけ、これまでの工場でのインフラ面の対策のみならず、オフィスでも環境活動の評価基準を設けて活動を推進し、さらには、電力消費量を抑えた製品や環境ソリューションを開発・提供することで、お客様のCO_2削減にも貢献してまいります。

以上のような課題を不断の努力を積み重ねることにより解決し、お客様のパートナーとなり、豊かで活力のあるネットワーク社会づくりに貢献できるグローバルな企業としてお客様や社会から信頼されるよう一層の自己革新を図ってまいります。

(13) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社定款第４１条に規定される剰余金の配当等における取締役会に与えられた権限の行使に関する基本的な方針は、株主の皆様に安定的な剰余金の配当を実施するとともに、財務体質の強化及び業績の中長期的な向上を踏まえた積極的な事業展開に備えるため、内部留保を充実することにあります。また、利益水準を勘案しつつ内部留保を十分確保できた場合には、自己株式の取得等、より積極的な株主の皆様への利益の還元を行うことを目指してまいります。

当中間期におきましては、前期に計上した純損失により株主資本が毀損された状況ではありますが、収益は回復基調にあり継続して安定的な収益及びキャッシュ・フローを見込んでいることから、株主の皆様へ安定的な剰余金の配当を継続し、当中間期の剰余金の配当は、引き続き１株当たり３円とする予定です。なお、当社は当中間期の剰余金の配当を「利益剰余金」から実施するため、会社法第４４１条の規定に基づき、２００７年９月３０日を臨時決算日とする臨時計算書類を作成いたします。
また、当社は、剰余金の配当につきまして、中間期末日、期末日を基準とした年２回とする予定です。